

陳 情 文 書 表

(令和5年10月18日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>陳情第32号(5.10.10) SDGsに逆行する王子公園再整備基本計画の見直しを求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>(1) 王子公園再整備基本計画は、誰が何のために進めているのか。王子公園のスポーツ施設や自然環境等は、現在及び将来の子どもの権利として保障され、守り、発展させられるものでなければならぬ。子どもの権利条約のもと、プールや相撲場、テニスコート、サブグラウンド等の廃止で、子どもの居場所を狭めることなく、今ある施設・設備の改修、充実を考えること。</p> <p>(2) 王子公園再整備基本計画は、景観、植物・動物、交通量、解体・建設時のCO2排出量、大気汚染、騒音、光害等、環境への影響が大きいと思われる以上、環境アセスメント実施が必要だが、王子公園が20ヘクタール以上の面積であるにも関わらず、都市公園の新設に該当しないことを理由に、神戸市は対象外事業としている。しかし、昨今、対象外事業についても自主的な環境配慮の取り組みを環境省等も推奨しており、既に実施事例も多数ある。環境配慮の市民への説明責任を果たすためにも環境アセスメントに自主的に取り組むこと。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市灘区 「王子公園・市民ミーティング」実行委員会 代表 小林 るみ子</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>都市交通委員会</p>

2023年10月10日

神戸市会議長 様

【陳情者】

神戸市灘区

「王子公園・市民ミーティング」実行委員会  
代表 小林 るみ子

SDGsに逆行する王子公園再整備基本計画の見直しを求める陳情

【陳情趣旨】

私たちは、SDGsに逆行する王子公園再整備基本計画の見直しを求めます。「新たな価値が創出される」と言われている大学誘致により樹木伐採や歴史あるスポーツ施設が廃止されることが、果たして市民の憩い・健康維持・安心安全に繋がるのでしょうか。

私たちは、大学誘致に反対するだけでなく「当計画を国の法律『都市公園法』の理念に基づく“再整備”と位置づけ、現エリアを縮小させず、地理的・文化的・歴史的特色を損なわず、次世代に引き継ぐ」とした案を創り、神戸市に提案致しました。“王子公園の未来はみんなで決める”を基本姿勢とし、以下、4項目について陳情します。

【陳情事項】

(1) 王子公園再整備基本計画は、誰が何のために進めているのでしょうか。王子公園のスポーツ施設や自然環境等は、現在及び将来の子どもの権利として保障され、守り、発展させられるものでなければなりません。《子どもの権利条約》のもと、プールや相撲場、テニスコート、サブグラウンド等の廃止で、子どもの居場所を狭めることなく、今ある施設・設備の改修、充実を考えられたい。

(2) 阪神淡路大震災で、《広域避難所・災害救助拠点・仮設住宅用地》として利用された王子公園は、地域防災拠点としての役割を果たした都市公園です。災害が続く昨今、その機能を低下させることなく、概ね10ha以上の面積を維持・確保できるのか確認されたい。また、『都市公園法』第16条2項において、都市公園を縮小する場合には、代替公園の設置が義務付けられていますが、その計画についても確認されたい。

(3) 王子公園再整備基本計画は、景観、植物・動物、交通量、解体・建設時のCO2排出量、大気汚染、騒音、光害等、環境への影響が大きいと思われる以上、環境アセスメント実施が必要ですが、王子公園が20%以上の面積であるにも関わらず、「都市公園の新設に該当しない」ことを理由に、神戸市は、対象外事業としています。しかし、昨今、対象外事業についても自主的な環境配慮の取り組みを環境省等も推奨しており、既に実施事例も多数あります。環境配慮の市民への“説明責任”を果たすためにも環境アセスメントに自主的に取り組まれたい。

(4) 現在、王子公園再整備基本計画の市民意見募集が行われていますが、その素案には、樹木の残存数・伐採数・植樹数等々の具体的な数値が未だ示されていません。王子公園の樹木のうち、桜の多くは、動物園内にあります。この度のレイアウトの変更で大半が伐採されるのではないかと推察します。また、“存続”を表明された遊園地についても、具体的な記載がありません。このような不十分な情報では、市民は正確に意見を述べることはできません。市民意見を尊重するためにも、引き続きこれらの数値等を明らかにした追加資料を出されたい。そのためにも、意見募集の実施期間の延長を検討されたい。

都市交通委員会所管分は  
陳情第32号

建設防災委員会所管分は  
陳情第33号

## SDGsに逆行する王子公園再整備基本計画の見直しを求める陳情

陳情第32号

都市局

陳 情 要 旨 等	
陳情者	神戸市灘区 「王子公園・市民ミーティング」実行委員会 代表 小林 るみ子
陳情要旨	<p>【陳情第 32 号】</p> <p>(1) 王子公園再整備基本計画は、誰が何のために進めているのか。王子公園のスポーツ施設や自然環境等は、現在及び将来の子どもの権利として保障され、守り、発展させられるものでなければならない。子どもの権利条約のもと、プールや相撲場、テニスコート、サブグラウンド等の廃止で、子どもの居場所を狭めることなく、今ある施設・設備の改修、充実を考えること。</p> <p>(2) 王子公園再整備基本計画は、景観、植物・動物、交通量、解体・建設時のCO2排出量、大気汚染、騒音、光害等、環境への影響が大きいと思われる以上、環境アセスメント実施が必要だが、王子公園が20ヘクタール以上の面積であるにも関わらず、都市公園の新設に該当しないことを理由に、神戸市は対象外事業としている。しかし、昨今、対象外事業についても自主的な環境配慮の取り組みを環境省等も推奨しており、既に実施事例も多数ある。環境配慮の市民への説明責任を果たすためにも環境アセスメントに自主的に取り組むこと。</p>
陳 情 に 対 す る 神 戸 市 の 考 え 方	
<p><b>陳情項目（1）について</b></p> <p>「王子公園再整備基本方針」の策定（令和4年12月）にあたっては、当初素案の発表（令和3年12月）以来、市民や議会の意見を踏まえた案の見直しや市民との意見交換会など、丁寧な説明や意見聴取を重ねてきました。ご指摘のテニスコートやプールなど公園内の施設についても、利用状況や全市的な配置状況などを踏まえ、園内外で再整備、代替・機能確保を図り、出来る限り従前施設の機能を確保することとし、基本方針において「再整備による各施設の方向性」として位置付けたところです。</p> <p>再整備において、子どものための空間の確保は重要であると認識しており、基本計画（素案）の策定にあたっては、子育て世代を対象にした、市ホームページでの意見募集や王子動物園内でのアンケート調査を実施するなど、施設を利用する子どもやその保護者の意見も聞きながら検討を進め、基本計画（素案）において、「子どもたちの学びや成長の場として利用できる誰もが気軽に憩いくつろげる空間の創出」といった理念・コンセプトを掲げています。この理念等に基づき、スポーツゾーンには、多目的広場やみんなの広場を整備し、遊具、ボール遊びなどに利用できる施設や近隣・広域からも訪れたいくなるような空間を整備するとともに、スタジアムでは、部活動などにも利用できる一般開放の時間帯を設けます。また、緑の広場やシンボルプロムナードには、ベビーカーにも配慮しながら、大芝生広場や親水空間、イベントスペースなど、魅力的な空間を創出します。</p> <p>これらにより、多くの子どもたちが一年を通じて安全・安心に利用できる、一般に開放された空間を拡大します。</p> <p>基本計画（素案）については、10月2日から市民意見募集を実施しており、今後も広く市民のみなさまからご意見を伺いながら、基本計画の策定に向けて引き続き取り組んでいきます。</p>	
<p><b>陳情項目（2）について</b></p> <p>環境影響評価法では、規模が大きく環境に大きな影響を及ぼすおそれがある事業を対象に環境アセスメントの手続きを行うこととしています。</p> <p>さらに、地域の実情に応じた環境の保全の観点から、神戸市独自の取り組みとして、「神戸市環境影響評価等に関する条例」を制定し、法対象事業以外の事業や法対象より小規模の事業などにも環境アセスメントを実施することとしており、「都市公園の新設」等を対象事業としています。</p> <p>王子公園再整備は、環境影響評価法や市条例に定める対象事業ではなく、環境アセスメントを実施する予定はありませんが、周辺への配慮は重要であると考えていることから、基本計画（素案）において、良好な景観を維持・向上していくため、六甲山の山並みを背景とした公園全体の景観と調和するよう配慮した建築デザインや緑化等を検討していくこととしています。また、スタジアムについて、観客席の屋根・壁・吸音材による防音対策の実施や、周辺環境への光漏れに配慮した照明設備の検討などを行っていくこ</p>	

ととしています。

なお、基本計画（素案）と市ホームページのFAQにおいて、建物規模をお伝えするパース図や概略の数値のほか、騒音についても設計の際に順守すべき規制値などを合わせてお示ししているところであり、今後、これらに基づき詳細な調査や設計を進め、具体化を図ります。